

20231220 京都地裁 原告発言原稿(最終)

原告 原 龍治

(1) 自己紹介

① 私は京都市左京区に住む原龍治です。

2015年4月から2021年3月末まで、UPZ圏内にある美山診療所に6年間務めました。毎日片道1時間強50kmを車通勤していました。2年目の夏からは週2,3回美山に泊まっていました。

② 美山で一番驚いたのは、雨が降っても風が吹いても雪が降っても、直ぐに通行止めになることで、自然の前に人間が如何に非力であるかを痛感しました。併せて、原発事故が起これば道路が寸断され、美山からは脱出などできないと確信しました。

(2) 美山の地理

① 美山は、福井県と滋賀県に接する山間地で、面積は南丹市面積の55%、京都府面積の7%あります。美山の東西、芦生から大野ダムまでは約50Kmあり、大津市役所と亀岡市役所との距離とほぼ同じです。

② 周囲を800-900メートル級の連山に囲まれ、芦生の原生林を源流とする由良川とその支流が削った由良川水系の細く深い谷で盆地が形成されています。

集落を結ぶ道路は、急斜面の山あいの谷川沿いを走り、道路際まで密に植林された杉林が迫っています。この杉が、長年の林業低迷のため適切に手入れされておらず、根が十分張らず雪や風雨で簡単に倒木すると聞きました。

③ 美山地域から、車で外部に通じる道路は、5ルートだけです。

一つは、美山町から北へ堀越峠を越え、福井県おおい町へ向かう国道162号線①。

二つは、同じ国道162号線②で深見峠を越え京北町に繋がる赤色のルートです。

三つは、上平屋から南へ原川の谷に沿って原峠手前の神楽坂トンネルを抜け日吉を經由して園部に至る府道19号線③。このルートは道幅が広く整備されており、通行車量の多いルートです。

四つは、西へ繋がる府道12号線④。宮島から大野を経て大野ダムを経て京丹波町和知の国道27号線につながります。事故時の避難道路に指定されています。

五つ目は府道 38 号京都広河原美山線⑤で、美山診療所がある安掛から由良川に沿って茅葺きの里で有名な知井地区を通り白石、佐々里を通り佐々里峠から京都市左京区広河原へ通じる道路です。

④ しかし、⑤番目の府道 38 号線は、積雪のため佐々里峠が冬期 5 ヶ月間全面通行止めになります。従って、図の「星印」は府道 38 号が 162 号線とつながる「道の駅」ですが、冬場には、ここよりより東にある平屋地区の内久保と知井地区の住民は大きな袋小路の中での生活となり、38 号線が通行止めになれば、ここに住む住民は孤立します。

(3) 冬は雪が降り、頻回に通行不能になります。

① 美山は福井県嶺南地方の南にあたり、日本海側の気候で気温は京都市内より、5~6 度低く、冬は湿った重い雪がよく降ります。降雪、積雪のある時期は、写真のような中での毎日になります。

② 通行止めとなった美山界隈の幹線道路を FB グループ「162 地域と京都市以北の道路情報」の投稿から紹介します。北部の道路の通行止めや路面状態などの道路情報をリアルタイムで共有できるため私も参加し、活用していました。

・府道 19 号線③の 2023 年 1 月 28 日午後 3 時現在の神楽坂トンネル日吉側。普通車は木の下をくぐり通れますが、大型車は通行できません。倒れた木が電線に引っかかっています。

・③2023 年 1 月 29 日、府道 19 号線、神楽坂トンネル手前倒木。電線、電話線に引っかかっています。

・次は、②国道 162 号線。2023 年 1 月 28 日京北町下中交差点の美山方面の通行止看板。「2023 年 1 月 28 日 18 時時点、深見峠は倒木処理がまだ終わっていません」

・次も、②、国道 162 号線。2023 年 1 月 31 日、深見峠です。

・これは「2023 年 1 月 28 日 162 号線② ミヤマ名水運搬トラックがスリップして、道を塞いでいる」状況

・次は「2023年1月28日佐々江のきつね坂付近。京北から美山方面は現在行けません。②深見峠は倒木、日吉園部方面③はトラックがふさいでいます。」

③今年の1月28日から31日の大雪では、美山に通ずる5ルートの内4ルートが通行止めになりました。

④ このように美山の冬は、雪のための倒木による通行止めに加え大型車輛の立ち往生など通行止めが頻回に発生します。

(4) 通行止めは年中起こります。

美山周辺の道路状況の困難さは、雪に限りません。降雨時にも頻回に通行止めになります。

① 先程紹介した⑤番目の府道38号線、冬期は美山中心部に向かうルートしかありません。が、このルートで昨年2022年1月18日昼、芦生の入り口から100m程美山寄りで大規模な土砂崩落が発生し、全面通行不能になり芦生、白石、佐々里が孤立しました。

・2022年1月18日の京都新聞ニュースデジタル版です。

「18日午前1時半ごろ、京都府南丹市美山町芦生の府道京都広河原美山線で、のり面が長さ50メートル、高さ30メートルにわたって崩落した。冬期間、芦生と白石、佐々里へ通じる唯一のルートが閉ざされ、孤立した。急遽、冬期通行止めとなっている府道38号線佐々里峠の緊急除雪を行い、交通路を確保した。」と報じています。

・京都府南丹土木事務所は「2022年1月18日に土砂が崩れ、仮設道路の開通は3月中旬」と報告しており、完全復旧は1年半後の今年7月でした。

② 2017年10月の台風21号により、ここの少し上流で大規模な土砂崩れが発生し、白石、佐々里が孤立しました。

③ 更に、美山町内久保で、府道38号線が川の氾濫による道路陥没と倒木で通行止めになり、知井地区全体と平屋地区の一部が孤立しました。このときは、美山町内で4ルート6カ所が全面通行止めになりました。

④ これは、2017年1月19日に162号線小野郷から中川までの区間で雨による斜面土砂崩れで通行止めの現場です。

・次は、同じ区間で起きた2018年5月14日の倒木と崩落現場です。

・次は、2020年7月8日、高雄高山寺の駐車場から300mほど北の斜面

土砂崩れです。

同じ日、小野郷笠トンネル手前(市内側)で土砂崩れがありました。

4日間の通行止めの後、片道通行が可能になりました。

⑤ 直近では今年 2023 年 8 月 15 日お盆に上陸した台風 7 号の際、美山と外界を結ぶ道路は、すべてが通行止めとなりました。

⑥ このように、美山界隈の山間部の道路は、雨による倒木やのり面の崩落、土砂崩れによる通行止めは頻回に発生します。

(5) 逃げる道路が無い！

①美山では災害級の大雨や大雪、強風でなくても、倒木や土砂崩れで道路が塞がれ通行止めが起こります。

そこに、地震が起きれば、より大規模な倒木や土砂崩れが各地域で多発し、至るところで道路が寸断されるだろうことは、誰でも予想できます。この時、原発事故が起きない保障はありません。寧ろ、原発事故は地震と自然災害との複合災害で起こる可能性が高いと言われていています。複合災害で原発事故が起これば、美山の住民は元気であろうとなかろうと、道路が寸断され避難できなくなってしまいます。救援車輛も入れません。

(6) 最後に

原発事故は、一旦起これば、現在の人類の技術ではコントロールできません。発生する放射性物質を無害化する技術はありません。

危険極まりない原発の運転を停止させる判決を頂けるよう、心からお願いして、意見陳述を終わります。

ご清聴ありがとうございました。

以上